

昭和46年末に決定した筑波研究学園都市への移転を契機として 地質調査所は 長年の念願であった標本館の建設を実現すべく具体的計画の策定に着手することになった。このため 所内に各分野の専門家から構成される“標本館展示レイアウト小委員会”を設置して標本館の機能 果すべき役割 展示の基本構想等について検討を行うとともに 株式会社丹青社に委託して展示に関するパイロットプランの作成を行うことになった(昭和50～52年)。

これら検討と併行して展示標本の収集・整備 標本に関する分類学的研究 電算機を利用した標本管理手法の研究を実施してきた。地質調査所内における標本館建設の準備体制及び準備作業の進展に呼応して 昭和52年度には 建設省の手による建物の基本設計 同53年度には展示工事の基本及び実施設計と建物の実施設計が行われ さらに53年度末には建築工事に着手した。建設の工期は展示工事の完成を含めて昭和55年3月下旬となった。

標本館設置の目的・機能・意義

標本館の目的(使命)は次のとおりである

- 1) 標本・試料等に関する分類学的 地質標準の研究を行う
- 2) 国内外の地質標本・試料の収集・分類・保管を行い研究面での共同利用に資する
- 3) 標本・モデル等の展示・陳列によって地質調査

所の研究活動の紹介と地球科学の成果の普及を行う

したがって 標本館の有する機能としては 上記3項目に対応して 研究・管理機能 収蔵・保管機能及び展示・陳列機能が挙げられ 施設計画はこれらに十分対応できるものであることが必要である。

地質調査所の位置している筑波研究学園都市及びその周辺(茨城県下)においては歴史博物館 6 美術館 6 科学博物館 2(大洗海洋博物館 日本原子力文化センター) 動物園 1 水族館 1 計 16館の文化施設が知られている。当標本館は “郷土の地質”等を展示の大きなテーマとして取り入れた地球科学についての総合的な標本館として 地元の文化・教育・レクリエーションの分野にも貢献すべく期待されるものである。

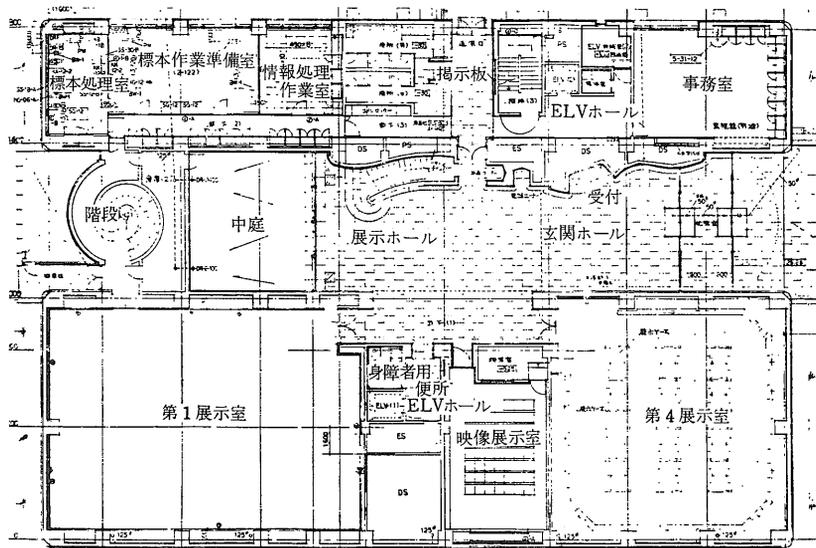
施設計画の概要

標本館は 研究本館の南西側に 内環状道路に面した位置にあり 研究・管理棟と展示棟の2棟から構成されている(第2図 写真1)。研究・管理棟は 地下1階・地上3階で延床面積約1,000m² 2階の渡廊下で研究本館と連絡しており 1階に管理事務室・実験室 2階に薄片等作業室 3階に研究室が配置されている(第2～4図)。展示棟は地下1階・地上2階で延床面積1,491m² 地階に電機室・機械室・標本収蔵室・作業室が 地上階に展示・陳列室が配置されている(第2～4図)

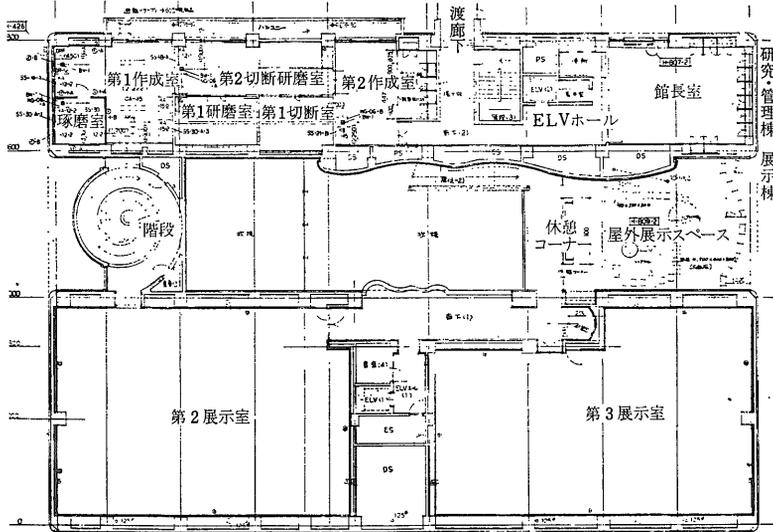
展示棟は 一般公開を原則とし そのため 研究・管理棟の研究部門への影響をできるだけ緩和するよう動線に工夫がこらされている。



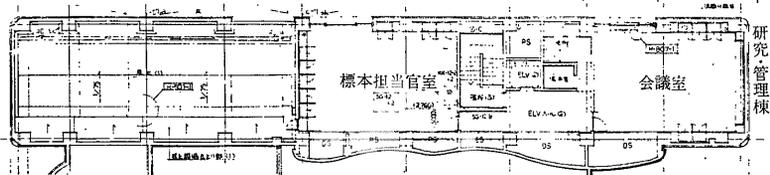
写真1
標本館全景
右側 地質調査所研究本館
左側 微生物工業技術研究所研究本館



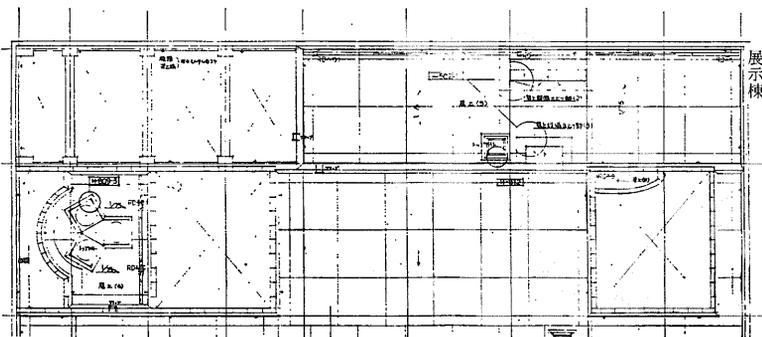
第 2 図
標本館 1 階 平面図



第 3 図
標本館 2 階 平面図



研究・管理棟



展示棟

第 4 図
標本館 3 階 平面図

研究用動線としては 研究本館と結ぶ2階の渡り廊下及び研究・管理棟内のエレベーターがある このエレベーターは1階及び地階で展示棟との共通空間を所有している。 展示棟内の見学用動線は 主として 階段を利用することとし 1階→2階→1階の歩行動線が設定されているほか 身障者用のエレベーターも設置されている。

展示計画の概要

標本館においては 地質調査所の研究活動とその成果の紹介を通じて研究開発の社会への還元 地球科学の社会への普及を目標として 鉱物・岩石・化石・鉱石等の試料・標本を主体とした展示・陳列を行うとともに 各種のモデル・ジオラマ・大型特殊シミュレータ等を利用して地質現象を再現させ “目で見る”方式で その法則性・特異性等を認識させることを考えている。

このため 展示のテーマ 展示の内容 展示物の質 展示の形態 色彩 照明 文章 音声 映像 展示室の

第1表 展示テーマによる階層別配置

番号	室名	階層	展示テーマ	展示物
O	屋外入口	1	ファサード アプローチ	アプローチ サイン
1	玄関ホール	1	インフォメーション サイン 外国寄贈標本	案内パネル 岩石標本壁張り
2	展示ホール 137.0m ²	1	地球内部構造 日本列島大型地震分布モデル	地球儀 規模別・深度別の震源分布模型(一部点灯)
OA	屋外中庭 60.9m ²	1	シンボル ディスプレー 大型褶曲露頭	現地型どりの現寸大褶曲レプリカ
3	映像展示室 81.4m ²	1	映像展示 地質調査所の創設と変遷	火山の噴火 深海底鉱物資源の研究等の映画 壁面パネル(年表)
4	展示室1 298.1m ²	1	地球の歴史 ・地球の歴史 地球の発生～発展 日本列島の発生 地質 地質年代 ・地球の歴史 岩石系 地質年代 日本列島の年代 ・地球の歴史 化石系 生きている化石	アポロ衛星写真(内照式) 岩石標本(世界最古) 日本列島大型地質模型 地質年代代表(タイムトンネル風) パネル 岩石標本 写真エッチング 基盤岩分布パネル(点灯) 生きている化石のジオラマ レプリカ

5	展示室2 298.1m ²	2	微化石の世界	35m/m オートスライド
			デスマスチルス	デスマスチルスのレプリカ
6	展示室3 295.7m ²	2	・地質図とは何か 地質図の出来るまで	オートスライド レリーフ模型 図表 写真 岩石等標本 1/5万等地質図
			・地質年代表	地質図
			・平野の地質・郷土の地質	地質図
			研究学園都市周辺の地質 郷土の岩石・鉱物・化石 南関東地域の地質等	ボーリングコア標本 地質模型(電動式) 地質柱状サンプル
			生活と鉱物資源	イメージ写真
			・鉱物資源	パネル
			鉱物資源の利用	分布図(ランプ点滅)
			鉱物資源の分析	グラフ
			生産と需給	パネル(内照式)標本
			鉱床のタイプ	標本
7	展示コーナー 91.6m ²	2	・鉱石と鉱物	ダイヤモンド等標本
			宝石・飾石	大型地形模型
			・鉱物資源を海にさぐる海底地形	パネル写真 標本
			海底鉱物資源・堆積物	パネル 写真
			調査技術・採掘	パネル 写真
			海洋調査船	パネル 写真
			生活と地質現象	
			・火山	パネル(点灯式)
			世界・日本の火山	シミュレーター
			富士・箱根火山	オートスライド
火山のできるまで	岩石標本			
火山及び火山岩	パネル 模型			
7	展示コーナー 91.6m ²	2	・地熱・温泉	大型シミュレーター
			熱水系大型シミュレーター	ミニチュア模型(地熱発電所)ポラビジョン
			変質帯	パネル 標本
			・地震	
			地震の起る場所と地質構造	パネル
			地震のトピック	パネル
			・プレートテクトニクス	
			プレートテクトニクス?	パネル 3面マルチスライド
			日本周辺の造構運動	シミュレーター ポラビジョン
			・結晶のしくみ	パネル 大型水晶標本 結晶模型
・花崗岩の解剖	大型標本 カラー写真			
7	展示コーナー 91.6m ²	2	休憩コーナー	

8	展示室 4 228.0m ²	1	分類展示	標 本	
			・一般分類展示		
			岩 石		"
			鈷 石		"
			鈷 物		"
			化 石		"
			外国標本	"	

地質調査所等から 筑波での標本館建設を記念して とくに寄贈されたもので これら標本の展示は 当所の調査研究活動とその成果が いかに国際に富んでいるかの紹介をも兼ねている。 標本の寄贈国名 岩石名等は第2表に示すとおりである (写真2)

展 示 ホール

玄関ホールに引続いて設定されている展示ホールは2階までの吹抜けとし ホール中央部床面には大型地球儀(径2.5m)をおいて一部断面で地球の内部構造とそれぞれの構造に対応する地震波速度等の物理量を表示する。

配置 見学者動線 保守・管理・運営への対応等の検討を行い 第1表に示すような展示テーマによる階層別配置を設定している。

展示室等別展示計画の概要

玄関ホール

玄関ホールでは壁面を利用した館内の総合案内一全体配置図 各施設の紹介及び見学順路の案内一と外国からの寄贈標本の展示とを行う。 この寄贈標本は 地質調査所が 従来研究成果の交流等を行ってきた世界各国の

また 天井には 日本列島及びその周辺の地震の震源分布模型を展示し 規模別及び深度別に色分けを行って一部は点滅式にする。 この震源分布模型は 1階ホール面から見た場合は天井部の装飾の役割を兼ねている (写真2)

第2表 外国寄贈標本リスト (○印は展示標本 一部予定分を含む)

到着 No.	地域 (国名)	寄贈機関	資料名
● ASIA			
	Pakistan	Geological Survey of Pakistan	Some rock specimens
⑮	Bangladesh	Geological Survey of Bangladesh	Limestone
	Sri Lanka	Geological Survey Department	Garnet sillimanite graphite granulite schist, Cordierite gneisses with garnet, Apatite rock, Char-nochite, Garnet granulite
	Philippine	Bureau of Mines	
④	Israel	Geological Survey	Flint, Rose Granite, Olivine Basalt, Calcite-Spurite rock, Rudistid Limestone, Crisocola
⑳	Turky	Maden Tetkik ve Arama Enstitüsü	Gemlik diabaz, Söğüt oniks, Granite, Aiyonsekir
	Cyprus	Geological Survey Department	
⑨	Korea	Korea Research Institute of Geoscience and Mineral Resources (KICAM)	Chlorite-schist, Augen gneiss
⑩	Malaysia	Geological Survey	Granite Slab (Coarse-grained porphyritic biotite adamellite-typical of the Main Range Granite of the Malay Peninsula)
㉒	Afghanistan	Geological Survey Department	Aragonite, Black marble, White marble
	Peoples Republic of China		
● AFRICA			
①	Libiya	Industrial Research Center	Oolite-oxidize Iron Ore, Magnetite, Gypsum
⑮	Ethiopia	Geological Survey	Birbirite
	Morocco	Service geologique du Marco	Some Moroccan Rock Specimens
	Sudan	Geological & Mineral Resources Department	
	Uganda	Geological Survey and Mines Department	Marble, phosphate rock, Green Quartzite, Tuffs

	Egypt	Geological Museum Geological Survey	Some Egyptian rock Samples Some rock and mineral Specimens
	Algeria	Division Recherches, Societ Nationale de Recherches et d' Exploitations Minieres	
● OCEANIA			
	New Zealand	New Zealand Geological Survey	Piedmonite schist, Stilpnomelane bearing schist, Garnet gneiss
23	Australia	Bureau of Mineral Re-Re- sources, Geology and Geo- physics, Australia	Concretionary ferrocrete with precious opal
● EUROPE			
	Ireland	Suirbheireacht Gheolaiochte Eireann	Irish rocks
6	Bulgaria	Geological Institute	
	Denmark	Denmarks Geologiske Undersogelse	Danian Limestone
7	Belgium	Service géologique de Belgique	Marbles
	Sweden	Sveriges Geologiska Undersökning	Precambrian marble and Slate, Glacially striated boulder, Fossil- iferous Silurian Limestone
3	Nederland	Rijks Geologische Dienst	a piece of Carboniferous Shale with fossil plants
17	West Germany	Bundesanstalt fur Geowisse- nssenschaften und Rohstoffe	two paleozoic non-ferrous metal ore deposits in the Harz Mountains of northwest Germany
	Rumania	Institut de Geologie si Geo- fizica	
	Poland	Instytyt Geologiczny	Limestone, Marbles, Granites, Syenodiorites and Ultramafic rocks
20	England	The Geological Museum, Institute of Geological	Folded pyroxene-granulite, Acti- nolite rock, Monchizg uite Sheared pegmatite Ardgour granite-gneiss, Fossiliferous Car- boniferuos Limestone, Quartzite, Psammite, Schist, Dartmoor Granite (Hercynian)
8	Finland	Geologinen Tutkimuslaitos	Orbicular rock from Kangasala; Granulite, Rapakivi-granite, Cop- per Ore, Labradorite (Spectrolite), Pegmatite, Uvarovite (Cr-garnet) Impactite (Kärnäite)
5	Hungary	Magyar Állami Földtani In- tézet	1. granite 2. basalt
11	Liechtenstein	Liechtensteinisches Landes- museum	3. marble 4. limestone
16	Portugal	Servico Geologico de Portugal	Rock sample of Sienito Nefelinico from Monchinque
	Iceland	Náttúrufræðistofnun Island (Museum of Natural History)	Obsidian or Plagioclase
● NORTH AMERICA			
14	Canada	Geological Survey of Canada	Feldspar porphyry, Jasper con- glomerate
19	U.S.A.	United states Geological Survey	Oilshale, Diplomystus dentatus cope, Banettiagigas chubb
	Nicaragua	Servicio Geologico Nacional	
● SOUTH AMERICA			
	Guyana	Geological Surveys and Mines Department	Chilean rock Samples
	Chile	Instituto de Investig aciones Geologicas	
12	Colombia	Instituto National de In- vestigaciones Geologico-Mi- neras	Green and gray Phyllites of the Dagua Group
2	Bolivia	Servicio Geologico de Bolivia	Hornblendic Quartz monzodiorite (Syenodiorite)
13	Argentina	Servicio Geologico Nacional	Marmol Onix
	Uruguay	Instituto Geologico del Uru- guay	Granites, Marbles, Flagstones, Amethysts, Feldspar, Talc etc.

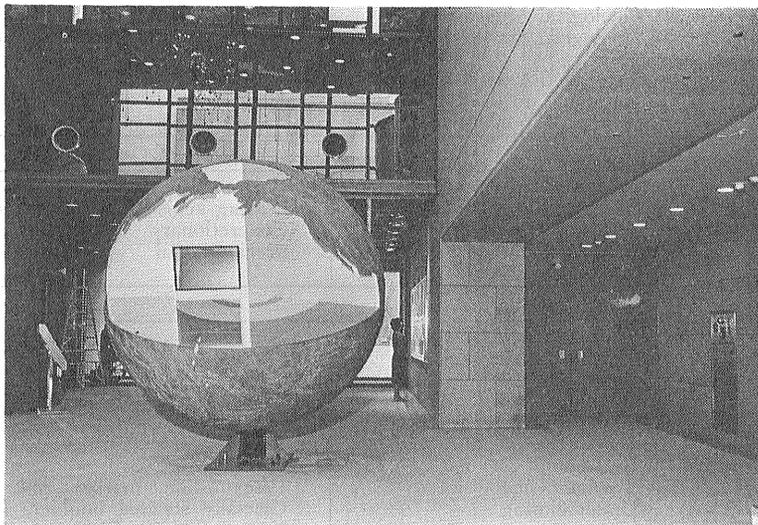


写真2
中庭から玄関ホールを見たパース
天井面は震源分布立体模型
右側壁面は外国寄贈標本の
壁面展示である

中庭 屋外展示

玄関ホール→展示ホールの順路の正面に屋外空間が設けられている(中庭)。この中庭には 標本館全体のシンボル展示として、褶曲露頭(9×6.5m)がダイナミックに展示されている。褶曲模型は 宮城県牡鹿半島にみられるジュラ紀牡鹿層群の露頭を現地で型取りし復原したものである(写真3)。

映像展示室

地球科学に関する講演会 映画会 小集会等のための空間として設定しており 館内での展示活動とともに普及活動の拠点としての利用が想定されている。当面は当所の研究活動の一端を紹介する物理探査及び海洋地質調査—深海底マンガノジュール—に関する映画 火山活動に関する映画(いずれも16m/m 1本20分程度)等の映写を行う予定である。この他 当室では 地質調査所

の創設と変遷をテーマとするパネル展示を行い 当所の創設以来の歴史 調査研究内容とその成果を要約して紹介する。また 映像展示室では テーマ別展示室見学のオリエンテーションの場にも利用する予定である(写真4)

展示室1 地球の歴史

展示室1では第3表に示す展示テーマが計画されている(写真5)

テーマ4-1地球の歴史コーナーでは 展示室1への導入部として 室の入口付近に アポロの衛星写真による地球の大型写真(内照式)を設置するとともに 昔の人達が想像した地球の姿を配置し また 特殊照明による造形オブジェを組み込み幻想的な演出をすることが計画されている。展示テーマ(小項目)①及び②については 35m/mのオートスライドで紹介し音声による説明が

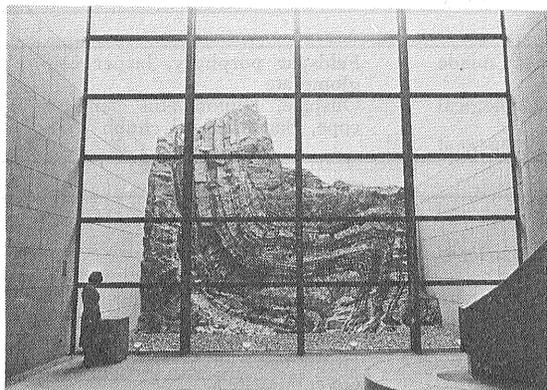


写真3
大型 褶曲 露頭
現地で型取りをもとに工場で作した褶曲模型全体をいくつかのブロックに区分して貼り合わせてある

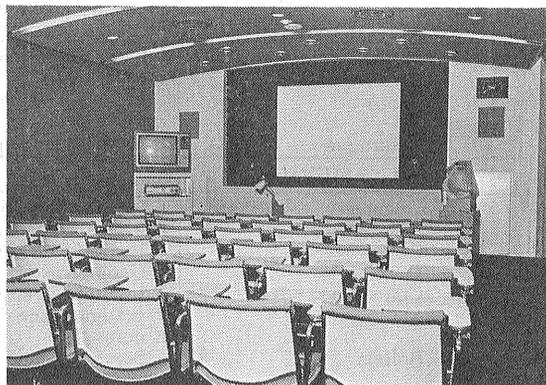


写真4 映像展示室

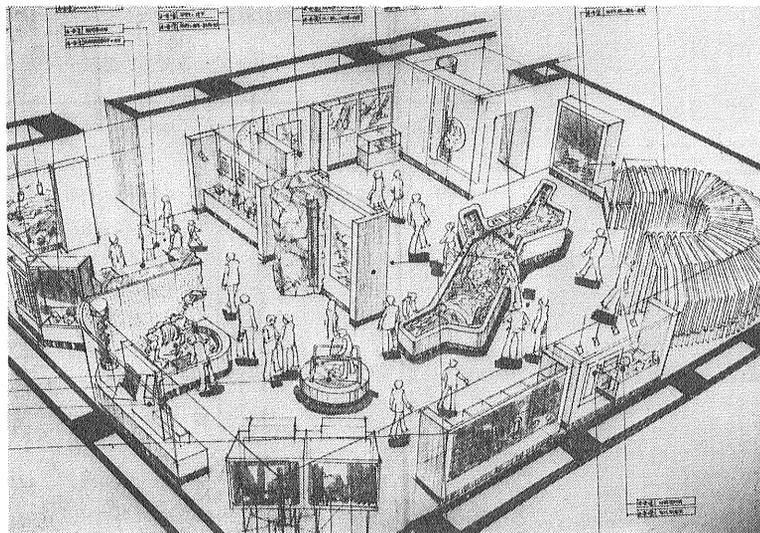


写真5
 展示室1の完成予想図 右上方が見学
 順路入口 右側からパイプ構成のタイムト
 ンネル風アーチ 日本より列島大型地質模型
 花崗岩の大岩塊実物標本 デスマスチルス全
 身骨格レプリカ等が展示される

第3表 展示室1(地球の歴史)の展示テーマ

テーマコード	展示テーマ(中項目)	展示テーマ(小項目)
4-1	地球の歴史	① 地球の発生～発展 ② 日本列島の発生～発展 ③ 日本列島の地質 ④ 地質年表
4-2	地球の歴史(岩石系)	① 地質年代をしらべる ② 年代測定法 ③ 測定法の実際 ④ 地質年代表 ⑤ 日本列島の年代
4-3	地質図とは何か	① 地質図の出来るまで ② 地質図が示す地質現象 ③ さらに詳しい地質の研究 ④ 地質図とサンプル ⑤ 地質図とは
4-4	地球の歴史(化石系)	① 生きている化石 ② 古生態環境及び堆積環境 ③ 微化石の世界 ④ デスマスチルス
4-5	郷土の地質・平野の地質	① 筑波研究学園都市の地下 ② 同上の地質 ③ 郷土の岩石・鉱物・化石 ④ 南関東の地質 ⑤ 平野の地下 ⑥ 平野の岩石・鉱物・化石

加えられる。この室の中央部には日本列島全域の地質模型(長さ約10m)が設置される(写真6)。また模型上での情報を補完するため模型の基図である1/100万地質図(地質調査所 昭和54年発行)を展示することになっている。この他④の地質年表については地質年代とそれに対応する動物・植物・岩石等を系統的・立体的に表現しパイプアーチ構成によってタイムトンネル風のイメージになるよう工夫されている(写真6)

4-2地球の歴史(岩石系)のコーナーでは天然の放射性同位体を利用する地質年代測定法について紹介する。小テーマ①～④についてはパネル・写真による説明及び一部測定に使用した岩石標本の展示を行う。⑤については日本における基盤岩の分布と実物標本とが押ボタン

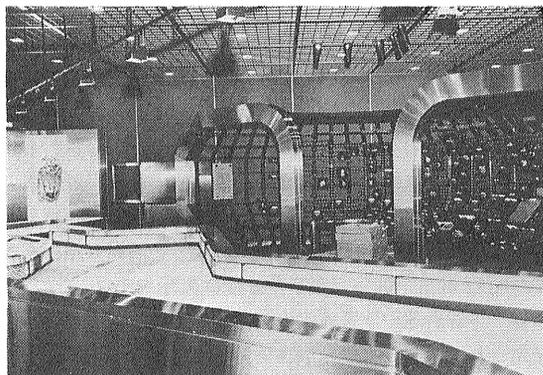


写真6 展示室2 手前は日本列島大型地質模型 後方は地質年表のためのパイプ構成のタイムトンネル風アーチ

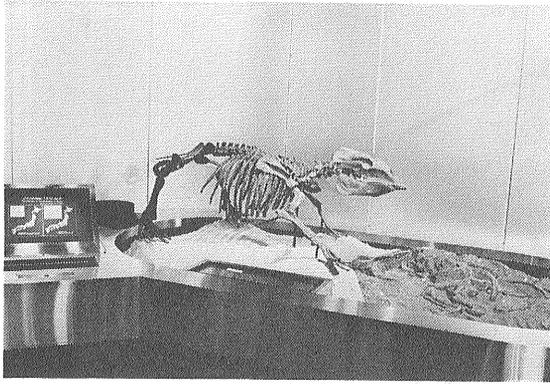


写真7 デスモスチルスの展示コーナー デスモスチルスの全身骨格レプリカ

で同時に表示される

4-3 地質とは何かのコーナーでは 南部北上山地をモデルに地質調査のプロセスをシミュレータを利用して解説するとともに各種の地質図を展示して 地質図にはどのような情報が盛り込まれているのか その利用の仕方等を紹介する。

4-4 地球の歴史(化石系)のコーナーでは化石の研究を通じての過去の再現 生物の進化等の紹介を行い これらの研究が地球科学の分野で果たす役割を解説する。生きている化石については その概要をナレーションと点滅式写真で紹介し オオムガイ(アンモナイト)及びカプトガニ(三葉虫)については生態環境をジオラマ表現で紹介する。また 当所が昭和52年に北海道歌登で発掘した幻の怪獣デスモスチルスの全身骨格のレプリカを展示するとともに(写真7) コーナー中央部床面に恐竜の足跡のレプリカを設置することを計画している。

4-5 郷土の地質・平野の地質コーナーでは 筑波研究学園都市とその周辺地域の地質を中心とした自然をパネル カラー写真 航空写真等で示すとともに 都市の地下を構成している成田層の露頭の実物 試錐コアの標本等を展示する。さらに 都市周辺で産する花崗岩 結晶片岩 石灰岩等人間生活と係り合いの深い岩石試料も展示する。また 南関東平野をモデルとして平野と人間生活 平野の生い立ちの理解を深めるため 南関東平野の地質模型(径約2m 縮尺1/12,500)を設置し地下水(深井戸)利用 鉱物資源等の分布の表示を行う。この他 下総台地の地質柱状の実物サンプルの貼込造形も予定されており 平野の形成史を理解するための工夫がこらされている。

展示室2 (生活と鉱物資源)

第4表 展示室2(生活と鉱物資源)の展示テーマ

テーマコード	展示テーマ(中項目)	展示テーマ(小項目)
5-1	鉱物資源	① 鉱物資源の利用 ② 鉱床の分布:世界 金属 非金属・燃料 ③ 鉱床の分布:日本 金属, 非金属・燃料 ④ 鉱物資源の生産と需給 ⑤ 鉱床のタイプと輪廻 ⑥ 蛍光・放射性鉱物 ⑦ 銅製錬利用系統樹 ⑧ 銅の生成機構 ⑨ 鉱石・鉱物 a 銅鉱物 b 非金属・燃料 ⑩ 宝石・飾石
5-2	鉱物資源を海にさぐる	① 大太平洋の海底地形(堆積物) ② 日本周辺の海底地形 ③ 海底鉱物資源 堆積物 ④ 調査技術 ⑤ 海底鉱物資源の探掘 ⑥ 海洋調査船 ⑦ 地質調査所のプロジェクト

展示室2では 陸上 海域と2中心テーマとして 鉱物資源の分布 種類 生産と需給 鉱石と鉱物の特徴等でき方 探し方等 広範囲にわたる展示・解説が計画されており 展示テーマは第4表のとおりである(写真8)。本展示室のプロローグとしては鉱物資源の利用という観点からみた元素の周期率表を紹介する。鉱床の分布については点灯表示を 鉱床のタイプについては鉱石等の標本とあわせて点滅表示を考えている。蛍光 放射性鉱物のコーナーでは 鉱物標本の展示とともに ミネラライトまたはガイガーカウンターによる測定を擬似体験的に行うことも計画されている。また 銅製錬利用系統樹は立体オブジェで設計されており 陸域の鉱物資源については宝石・飾石の展示コーナーがエピローグの役割を果たしている。海域の鉱物資源に関しては陸域とは独立したコーナーが設定されている。ここでは陸域とは全く異なる高い水圧と暗黒の海水層におおわれた海底の鉱物資源について その有するポテンシャルを それを探る調査技術等についての紹介が行われる。海底地形については大型の地形模型上に海溝等の名称表示と

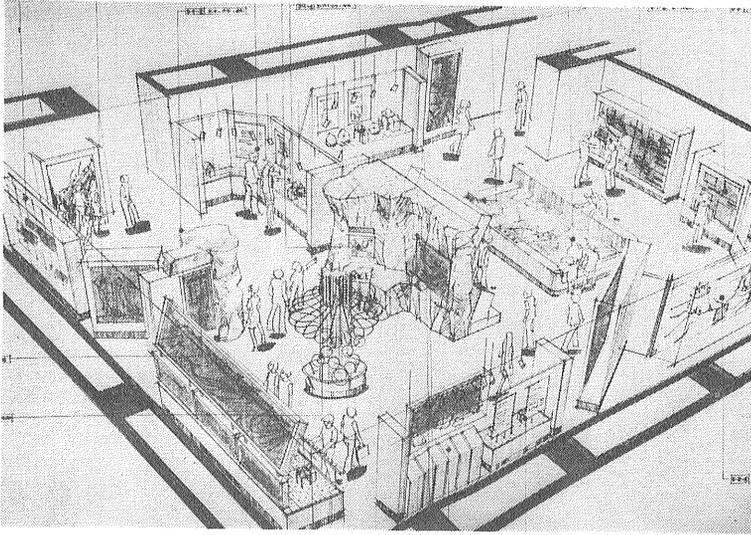


写真8
展示室2 左上方が1階第1展示室からの入口左半分が陸域の鉱物資源 右半分が海域の鉱物資源に関する展示室である

堆積物の分布が表現される。その他 海底から採集されたマンガンジュール等の実物標本の展示 各種調査手法のパネルによる展示 海洋調査船として活躍している白嶺丸等の写真が展示される。

展示室3(生活と地質現象)では われわれの身近に見られる地質現象をトピックス的に取上げ 模型 シミュレーター等を中心に展示を行っている。この展示室での展示テーマは第5表に示すとおりである。

6-1火山のコーナーでは 中央部に富士・箱根火山の立体シミュレーターを配置し(写真10) 地質図と地質断面を昇降駆動で紹介するとともに周辺壁面には火山 温泉 地熱地域をパネル上で点滅式に展示する。また火山のでき方を35m/mのオートスライドで解説し 火山

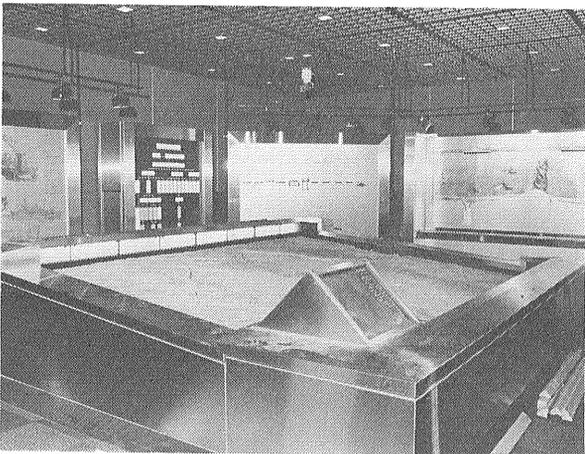


写真9 展示室2 鉱物資源を海にさぐるの展示コーナー

第5表 展示室3(生活と鉱物資源)の展示テーマ

テーマコード	展示テーマ(中項目)	展示テーマ(小項目)
6-1	火山	① 世界の火山(火山 温泉 地熱地帯の分布) ② 日本の火山(火山 温泉 地熱地帯の分布) ③ 富士・箱根火山 ④ 火山のできるまで ⑤ いろいろな火山及び火山岩
6-2	地熱・温泉	① 熱水系大型シミュレーターによる地熱・温泉地域の地質 ② 変質帯
6-3	地震	① 地震の起る場所と地質構造 ② 地震のトピックス
6-4	プレートテクトニクス	① プレートテクトニクスとは? ② 日本周辺の造構運動
6-5	結晶のしくみ	① 水晶とそのなかま ② 産状と物性 ③ 結晶形態と多形 ④ 人工合成と用途
6-6	花崗岩の解剖	① 花崗岩の内部構造 ② 花崗岩の構成鉱物 ③ 花崗岩マグマの貫入様式

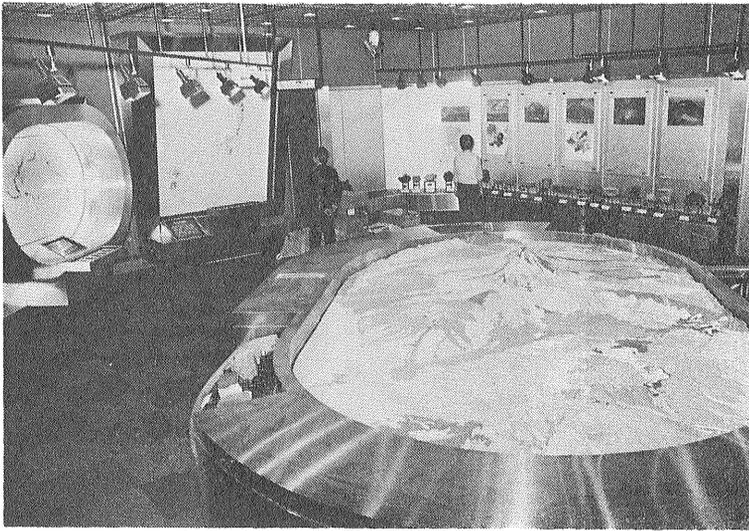


写真10
展示室3 中央部に富士・箱根火山の大型立体シミュレーターで 側面には岩石標本の展示も行われている

岩の標本や各地の火山の写真を展示する。

6-2地熱・温泉コーナーでは 八幡平地域の立体大型模型(2×1.6m)を中心に地質 変質帯の分布 熱水の循環機構の解説を行い 同地域の松川及び葛根田地熱発電所を例にとって模型及びポラビジョンで地熱発電の原理等の説明を行う。

6-3地震のコーナーでは地震発生の原理 地震源の分布 歴史的な大地震 地震にまつわるトピックスをパネル展示によって説明する。

6-4プレートテクトニクスのコーナーではその原理



写真12 展示室4 壁面陳列台

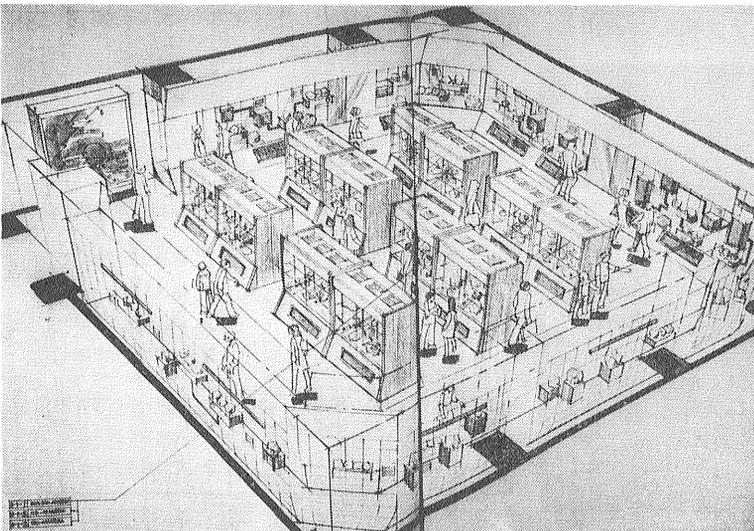


写真11
展示室4 第1～3展示室はトピックス的なものを取り上げ 大型立体模型 ジオラマなどで動的な展示がなされているが ここでは分類学的基準に基づいて静的な展示が特長であり 展示動線からは他の室とは独立に扱われている

等を3面マルチスクリーンで紹介するとともに 日本周辺の造構運動をシミュレータ及びポラビジョンで解説する。このコーナーはカプセル形ブース内に設置し 他コーナーとは独立している。

6-5 結晶のしくみのコーナーでは 大型の水晶の標本を中心にシリカ鉱物の標本展示を行い 産状・物性等についてのパネルによる解説 人工合成法の解説等を行う。

6-6 花崗岩の解剖コーナーでは学園都市の北方稲田に産する花崗岩の大型標本(約1×1×1.2m)を中心に岩石の研究方法をパネルとイラストによる説明を行うとともにその貫入形式を地質図 標本とあわせて展示する。

展示室4(一般分類展示)では鉱物・鉱石 化石及び岩石について分類学的研究に基づく展示を行い来館者中

の専門的見学の欲求に応えることにしている(写真11. 12) 以上のほかに 2階 休憩コーナー横に リモートセンシングの紹介を行っている。

ここに述べた展示計画の概要は 昭和53年度に実施した建設省筑波研究学園都市営繕建設本部及び榊丹青社の「工業技術院地質調査所標本館展示実施設計 展示計画概要書」によるものである。その後の展示工事実施に際して内容の一部に変更されたものがあることをお断りしておく。

標本館の展示棟の運営方式については 目下 当所内で検討中である。昭和55年度中なるべく早い時期に一般に公開する予定で準備を進めているので 開館の節は大方の御利用をお願いしたい。

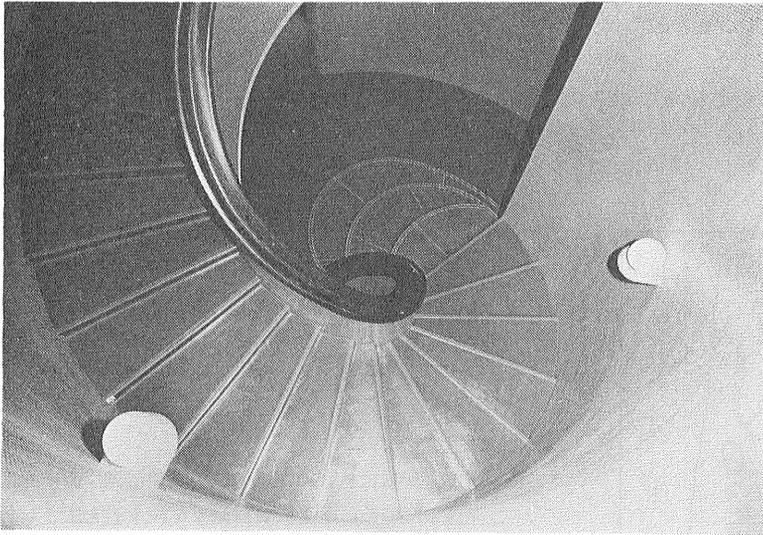


写真13
展示室1 (1階)から展示室2 (2階)への螺旋階段
2階から見た場合アンモナイトを表現したものである

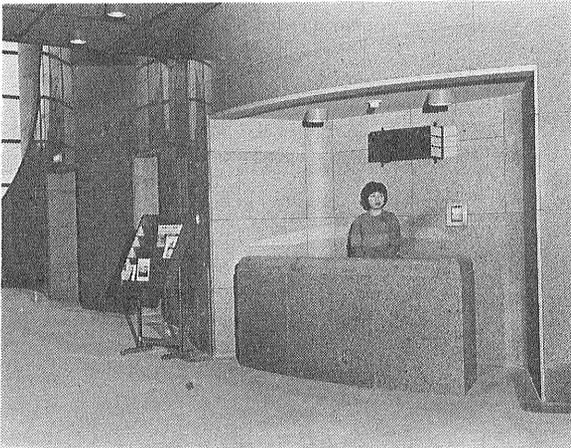


写真14 玄関ホール受付カウンター

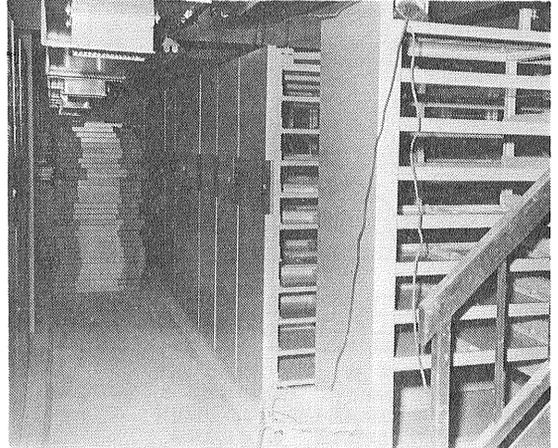


写真15 標本館地階の標本収蔵室